2026年度　理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	総合演習	開講年次	OT4年後期	不定期
担当教員	作業療法学科　専任教員			
講義概要	国家試験合格を目指し、ディスカッションを中心とした講義を実施する。			
学習目標	1. 国家試験の設問の意図を理解し、キーワードに下線を引くことができる。 2. 各選択肢の正誤を正しく直すことができる。 3. 各設問を解答するスピードを上げていく。 4. 今までの知識を応用して対応できるようになる。			

回数		担当教員
1回目	国試対策オリエンテーション　骨の基礎・連結	作業療法学科　専任教員
2回目	関節・筋の作用	作業療法学科　専任教員
3回目	筋の構造と機能	作業療法学科　専任教員
4回目	関節・筋の作用	作業療法学科　専任教員
5回目	姿勢・歩行	作業療法学科　専任教員
6回目	筋の作用、姿勢	作業療法学科　専任教員
7回目	バイオメカニクス・運動学習	作業療法学科　専任教員
8回目	神経の興奮伝導	作業療法学科　専任教員
9回目	中枢神経系	作業療法学科　専任教員
10回目	末梢神経	作業療法学科　専任教員
11回目	反射と筋活動	作業療法学科　専任教員
12回目	感覚	作業療法学科　専任教員
13回目	呼吸器系	作業療法学科　専任教員
14回目	循環器系	作業療法学科　専任教員
15回目	消化器系	作業療法学科　専任教員
16回目	排泄	作業療法学科　専任教員
17回目	代謝	作業療法学科　専任教員
18回目	ホルモン	作業療法学科　専任教員
19回目	病理学①	作業療法学科　専任教員
20回目	病理学②	作業療法学科　専任教員
21回目	人間発達学	作業療法学科　専任教員
22回目	臨床医学―疾病の診断	作業療法学科　専任教員
23回目	臨床医学―薬物、栄養、救急救命	作業療法学科　専任教員
24回目	リハ医学―評価	作業療法学科　専任教員
25回目	リハ医学―治療	作業療法学科　専任教員
26回目	臨床心理学―基礎理論	作業療法学科　専任教員
27回目	臨床心理学―発達心理・臨床心理	作業療法学科　専任教員
28回目	臨床心理学―検査法・心理療法	作業療法学科　専任教員
29回目	精神医学―物質依存	作業療法学科　専任教員
30回目	精神医学―統合失調症	作業療法学科　専任教員
31回目	精神医学―気分障害	作業療法学科　専任教員
32回目	精神医学―神経症性障害、ストレス関連障害、身体表現性障害	作業療法学科　専任教員
33回目	精神医学―パーソナリティおよび行動障害	作業療法学科　専任教員
34回目	精神医学―知的・発達障害	作業療法学科　専任教員
35回目	精神医学―てんかん	作業療法学科　専任教員
36回目	骨関節障害―変形性関節症、骨折	作業療法学科　専任教員
37回目	骨関節障害―関節リウマチ、スポーツ外傷	作業療法学科　専任教員
38回目	骨関節障害―脊椎疾患、腰椎症	作業療法学科　専任教員
39回目	骨関節障害―切断、肩関節疾患	作業療法学科　専任教員
40回目	骨関節障害―骨粗鬆症、骨壊死、先天異常	作業療法学科　専任教員
41回目	中枢神経障害―血管障害	作業療法学科　専任教員
42回目	中枢神経障害―感染・炎症性疾患、変性・脱髄疾患	作業療法学科　専任教員
43回目	中枢神経障害―脊髄損傷	作業療法学科　専任教員

44回目	末梢神経障害	作業療法学科　専任教員
45回目	内部障害—呼吸器疾患	作業療法学科　専任教員
46回目	内部障害—循環器疾患	作業療法学科　専任教員
47回目	内部障害—消化管疾患	作業療法学科　専任教員
48回目	内部障害—肝胆膵疾患、腎・泌尿器疾患	作業療法学科　専任教員
49回目	内部障害—血液疾患、自己免疫疾患	作業療法学科　専任教員
50回目	内部障害—内分泌疾患、代謝疾患	作業療法学科　専任教員
51回目	小児の障害	作業療法学科　専任教員
52回目	老年期障害	作業療法学科　専任教員
53回目	慢性疼痛	作業療法学科　専任教員
54回目	がん関連疾患	作業療法学科　専任教員
55回目	熱傷	作業療法学科　専任教員
56回目	保健医療福祉	作業療法学科　専任教員
57回目	リハビリテーション概論	作業療法学科　専任教員
58回目	基礎作業学—歴史、法規、病期、研究	作業療法学科　専任教員
59回目	基礎作業学—作業療法理論・作業分析	作業療法学科　専任教員
60回目	作業療法管理学	作業療法学科　専任教員
61回目	作業療法評価学—全身状態、画像評価	作業療法学科　専任教員
62回目	作業療法評価学—呼吸・循環・代謝、摂食嚥下、反射、形態計測	作業療法学科　専任教員
63回目	作業療法評価学—ROM	作業療法学科　専任教員
64回目	作業療法評価学—MMT	作業療法学科　専任教員
65回目	作業療法評価学—平衡機能、上肢機能、感覚、疼痛	作業療法学科　専任教員
66回目	作業療法評価学—発達	作業療法学科　専任教員
67回目	作業療法評価学—基本動作	作業療法学科　専任教員
68回目	作業療法評価学—ADL、職業関連関連活動、QOL	作業療法学科　専任教員
69回目	作業療法評価学—精神・心理	作業療法学科　専任教員
70回目	作業療法評価学—認知症、高次脳機能障害	作業療法学科　専任教員
71回目	作業療法評価学—中枢神経疾患	作業療法学科　専任教員
72回目	作業療法評価学—神経筋疾患、発達	作業療法学科　専任教員
73回目	作業療法評価学—呼吸、循環、代謝疾患	作業療法学科　専任教員
74回目	作業療法治療学—リスク管理、基本動作	作業療法学科　専任教員
75回目	作業療法治療学—義肢	作業療法学科　専任教員
76回目	作業療法治療学—装具	作業療法学科　専任教員
77回目	作業療法治療学—器質性精神障害、物質使用による障害	作業療法学科　専任教員
78回目	作業療法治療学—統合失調症	作業療法学科　専任教員
79回目	作業療法治療学—気分障害	作業療法学科　専任教員
80回目	作業療法治療学—神経症性障害、ストレス関連障害、身体表現性障害	作業療法学科　専任教員
81回目	作業療法治療学—摂食障害、非器質性睡眠障害	作業療法学科　専任教員
82回目	作業療法治療学—パーソナリティ障害、ギャンブル障害	作業療法学科　専任教員
83回目	作業療法治療学—知的障害、発達障害、てんかん	作業療法学科　専任教員
84回目	作業療法治療学—認知症	作業療法学科　専任教員
85回目	作業療法治療学—高次脳機能障害	作業療法学科　専任教員
86回目	作業療法治療学—骨関節障害	作業療法学科　専任教員
87回目	作業療法治療学—脳血管障害、頭部損傷	作業療法学科　専任教員
88回目	作業療法治療学—神経変性疾患	作業療法学科　専任教員
89回目	作業療法治療学—脊髄損傷	作業療法学科　専任教員
90回目	作業療法治療学—神経筋疾患	作業療法学科　専任教員
91回目	作業療法治療学—脳性麻痺、二分脊椎	作業療法学科　専任教員
92回目	作業療法治療学—呼吸・循環・代謝障害	作業療法学科　専任教員
93回目	作業療法治療学—内部障害	作業療法学科　専任教員
94回目	作業療法治療学—地域作業療法学基礎	作業療法学科　専任教員
95回目	作業療法治療学—地域作業療法学評価と支援	作業療法学科　専任教員
96回目	作業療法治療学—臨床実習	作業療法学科　専任教員

97回目	医歯薬模試①	作業療法学科　専任教員
98回目	医歯薬模試②	作業療法学科　専任教員
99回目	医歯薬模試③	作業療法学科　専任教員
100回目	三輪模試(秋)	作業療法学科　専任教員
101回目	三輪模試(冬)	作業療法学科　専任教員
102回目	過去問演習―第61回AM	作業療法学科　専任教員
103回目	過去問演習―第61回PM	作業療法学科　専任教員
104回目	過去問演習―第60回AM	作業療法学科　専任教員
105回目	過去問演習―第60回PM	作業療法学科　専任教員
106回目	過去問演習―第59回AM	作業療法学科　専任教員
107回目	過去問演習―第59回PM	作業療法学科　専任教員
108回目	過去問演習―第58回AM	作業療法学科　専任教員
109回目	過去問演習―第58回PM	作業療法学科　専任教員
110回目	過去問演習―第57回AM	作業療法学科　専任教員
111回目	過去問演習―第57回PM	作業療法学科　専任教員
112回目	過去問演習―第56回AM	作業療法学科　専任教員
113回目	過去問演習―第56回PM	作業療法学科　専任教員
114回目	過去問演習―第55回AM	作業療法学科　専任教員
115回目	過去問演習―第55回PM	作業療法学科　専任教員
116回目	過去問演習―第54回AM	作業療法学科　専任教員
117回目	過去問演習―第54回PM	作業療法学科　専任教員
118回目	復習	作業療法学科　専任教員
119回目	復習	作業療法学科　専任教員
120回目	復習	作業療法学科　専任教員

教科書及び参考書	PT・OT基礎固めヒント式トレーニング「基礎医学編」/南江堂 必修ポイント2026「臨床医学」「基礎OT学」「障害別　OT治療学」/医歯薬出版
教授方法	講義、ディスカッションによるグループ・ワーク
成績評価	判定方法　　:R9年1月8日の卒業試験 卒業試験合格基準 :得点168点以上　無断欠席・遅刻は卒業試験点数から減点

学生へのメッセージ(受講に際する留意点など)

これまでの学生生活、4年間の集大成です。今までの知識や実習での経験を生かして協力してクラス全員で切磋琢磨して国家試験合格を目指しましょう。授業の空き時間に関しても、復習や自分の不足している知識の充足のために学習を進める時間としてください。

問題集の解説を読んで「分かった気」にならないようにしましょう。なぜその答えになるのかまずは納得いくまで考え、自分用の解説を作成すること。そして暗記用のノートやファイルを作成し、習熟度に合わせて更新すること。何より問題数をこなすこと。努力は必ず実を結びます。行き詰まったら、合格してガッツポーズをしている自分、新人OTでドキドキしている自分を思い描いてください。勉強は楽しいものです。さあ、がんばりましょう！